

1月3日

成人式が 開催されました

❖❖❖新成人の皆さんおめでとうございます❖❖❖

1月3日、すこやかセンター伊野で成人式が開催され、20歳を迎えた265名が成人の仲間入りをしました。式典に参加された新成人の方々は、久々の再会を喜び、お互いの近況を話し合ったり、記念写真を撮ったりと成人となった喜びを分かち合っていました。

式典では、浅野真司さんが、「社会の厳しさを知り責任を自覚するとともに、自ら気づき、考え、実行する力を身に付け、理想の自己の実現のために進んでいきたい。そして郷土の発展のため、活力あふれる社会をつくるため、力を尽くしたい」と謝辞を述べられました。また町からの記念品を、新成人を代表して田上ほのかさんが受け取られました。

当日発表されました中村祥徳さんの新成人の主張を下記に掲載します。



記念品を受け取られた
田上さん



謝辞を述べた
浅野さん

感謝



中村 祥徳

新成人を代表して挨拶させていただきます。

本日、こうして無事成人式を迎えることができ、私は、両親、家族、先生、友人に対する感謝の気持ちを述べさせていただきます。

まず、両親へ。私も今年で社会人2年目です。今は県外で一人暮らしをしており自炊の生活ですが、仕事が忙しいこともあり外食が多くなりがちで、時々、母の手料理が食べたくなります。そんな時、母のありがたさを実感している今日のごろです。いつも冷たく接してごめんなさい。本当は感謝しています。お母さんありがとうございます。ほとんど連絡を取ることはないけれど、きつと誰よりも

家族のことを考え、心配している父、いつもお仕事お疲れさまです。やっとな一緒にお酒が飲めますね。心配かけてごめんなさい。お父さんありがとうございます。今、振り返れば、幼いころから家族はいつもそばで支えてくれていました。これからはしっかりした一人の大人として両親の力になれるよう努力します。

続いて先生へ。小学校、中学校、高校と数え切れないほどの先生にお世話になりました。一緒に悩み、熱く語り、時には叱り、進むべき道を示してください。

先生方との思い出は皆それぞれにあると思います。私たちが、その先生の教えを胸に、立派な成人になれるよう頑張らなくてはならないと思います。先生ありがとうございます。そして最後に友人へ。いつもいた

ずらばかりしていた友達、いつもケンカばかりしていた友達、よく学校に遅刻してきた友達、いつでもテストの点が良かった友達、いつも授業中騒いで先生に怒られていた友達、休み時間なのに席に座っている友達、いつもクラスの代表だった友達、部活ではヒーローだった友達、異性から大人気だった友達、元氣だけは一番だった友達、転校して行った友達、いつしか学校

